

企業 Zoom UP

第281回

建通エンジニアリング

— 耐震診断、耐震補強設計・工事で伸びる、
“信頼”の建築トータルサポート企業

東日本大震災をきっかけに、国内では、これまで漫然と運用されていたシステムや基準が総点検される一大ムーブメントが起こっている。企業・地域・家庭の防災対策、サプライチェーンの見直し、通信網の整備などなど。なかでも、人や企業にとって最も切迫した問題のひとつが、建物の耐震化だ。東海大地震の可能性も現実味を帯びてきた昨今、建物の耐震リスクは、すなわち入居する企業の抱える経営リスク、とも言える時代になってきた。

こうしたなか、耐震診断や補強設計、補強工事で全国各地を飛び回っているのが、建通エンジニアリング（株）だ。当社は2006年に、某グループの建築施工管理派遣事業を扱う子会社として設立。その後グループを離れ、独立系として、建築関連や通信関連に特化した人材派遣・アウトソーシング業を手がけていた。「こうしたお仕事をさせていただいていたので、“人”に関する思いは強いです」と話すのは代表の大岩氏。現在は、耐震を主軸とした診断、補強設計、補強工事などをトータルで手がける。人を育て、社外・社内ともに強い“信頼関係”を大切に、ここまで成長を続けてきた。

このところ、多方面から耐震関連の引き合いが来ているという。当社では構造設計士十数名をはじめ、多くの建築技術者を抱え、社員70名体制で様々なニーズに応えている。「企業やマンション入居者にとってみれば、突如として降ってきた入居建物の耐震対策で、どうしたらよいか分からないという方も多いです。耐震診断に

「毎年新しい策を出し続けて、常に高みを目指していきます」と語る大岩社長



関わる費用や補助金の相談、前後の資金繰りの提案も含めたトータル提案ができるのが当社の強みです」（同氏）。実績や体制が評価され、大手自動車メーカーの全国ディーラーについて耐震対策の受注を受けるなど、業容も順調。併せてリノベーション工事も開始し、耐震×リノベーションで高い付加価値を生み出す新しいステップへと進み始めている。

「雇用を増やすのはもちろんのこと、世の中に役立つ価値の高い仕事をすることで、従業員と共に会社を発展させたい」と、大岩社長は自身の哲学を話す。「まだ若い会社なので、一からの苦労を一緒に感じ、社内の強い信頼関係を構築したい」という思いから、新卒採用にも積極的。業績が拡大するなか、先を見据えた基盤固めも着々と進む。

東京都では、緊急輸送道路沿道の耐震化に関する条例も施行され、いま建物のことでお悩みの方は多いはず。当社に相談すれば、きっと“人”と“信頼”で応えてくれるだろう。

（取材・文／東京支社情報部 箕輪 陽介）

会社概要

建通エンジニアリング（株）
 企業コード：987268522
 東京都千代田区岩本町2-5-12、電話03-6823-6910
 大岩義典社長
 設立：2006年3月、資本金：8500万円
 事業内容：建築・通信関連のアウトソーシング事業
 年収高：約10億8900万円（2012年3月期）
 従業員：202名
<http://www.ken2eng.com>